

酒々井・千葉氏まつり



2016
第6号

若者がつくる広報ニューしすい
YOUNG EYES



広報ニューしすいYoung Eyes編集委員会
◆発行・編集／酒々井町企画財政課広報広聴班
〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11
☎043(496)1171

酒々井・千葉氏まつり



戦国時代の祭礼が復活

当日のまつりに参加した北岡、中台編集委員（右から）

今年度町では、戦国時代に千葉氏の居城の本佐倉城に城下町が誕生したのを祝って行われていた祭礼を復活し、「酒々井・千葉氏まつり」が10月2日に行われました。今回は、このまつりの実行委員長（酒々井・千葉氏まつり実行委員会）の山本さんに祭礼を復活する経緯やこれからのまつりの展望について伺いました。

また、我々編集委員は、「千葉一族」によって、まちが成立し、発展をとげてきた全国自治体の首長、郷土史家が一堂に千葉市に集結して行われた8月21日の「第1回千葉氏サミット」についても取材しましたので報告いたします。



酒々井・千葉氏まつり実行委員長の山本孝一さん（中央）

中村 まつり当日は汗ばむ陽気の中、町で今回初めてとなる酒々井・千葉氏まつりが行われました。このまつりを行うことになっ

た経緯と開催するにあたり特に力を注いだ点を伺います。
山本 現在全国各地で地方創生の取り組みが行われている中、酒々井町でも地元の人々が住んでいる地域に誇りと愛着をもち、町民が一体となって行えるまつりができないか、町と協働しながら、実行委員会のメンバーとともに計画をしました。町の自然、歴史や文化を紐解いていくと、町に1490年の戦国時代千葉氏の居城であった本佐倉城に城下町が誕生したことを祝い、戦国時代から明治時代まで行われた祭礼があり、このまつりを復活させて、子や孫が「ふるさと酒々井」を感じられるまつりにしようということになったのです。しかし、どのくらいの人々が集まってくれるのかとても心配でしたね。
中村 まつりのメインに「競馬（競馬）」の催し、「ばか乗り」（仮装行列）がありました。特に「ばか乗り」は珍しいものだと思いますが、当時どんな意味があつて行われていたのでしょうか。
山本 年に一度のまつりに身分をこえてみんなが集って町を盛り上げ、まつりを楽しんだのではないでしょうが、近隣の村々からも酒々井で面白いまつりを

行っているということで多くの見物人も参加して盛り上がったようです。
北岡 まつりの当日のばか乗りには、私も段ボールの甲冑を身につけて参加させていただきました。とても楽しかったです。
山本 多くの子どもたちや町外からも多くの方々がばか乗りに参加してくれて、大いにまつりを盛り上げてくれました。
北岡 今回の千葉氏まつりには町外からも多くの方々が参加されたようですが、町外の方々に酒々井町を知っていただく良い機会にもなったのではないのでしょうか。また、会場内では模擬店なども並んでいました。私はこのまつりにちなんだ名菓子等があれば、町外的にもっと町のPRになった気がしましたが、いかがでしょうか。
山本 戦国時代の千葉氏の居城が酒々井町にあったこと、また江戸時代に町にあった野馬会所（馬市場）など町の歴史について関心を寄せてもらい、町に興味をもってもらえればうれしいですね。まつりにちなんだ物販物の販売については次回のまつり開催の際に検討したいと思えます。
北岡 まつりというよりは神

輿を担いで、町中を練り歩くイメージがありますが、そのようなことも行ってみてはいかがでしょうか。

山本 町には各地区で立派な神輿があると聞いています。最近の子どもたちは、神輿を担ぐ機会が少ないと聞きます。このまつりに大人神輿や子ども神輿を皆で担ぐことができればいいですね。

北岡 最後に今後の酒々井・千葉氏まつりについてどのようなまつりに発展していきたいかと思えますか。

山本 このまつりを後世に伝えていかなくてはいけないという思いがあります。今後も継続的に実施できるように、行政主導ではなく町民が主体となり積極的にまつりに関われるような体制・仕組みづくりはもちろん、地域の学校・大学ともコラボしながら「ふるさと酒々井」を感じられるまつりにしていきたいと思えます。

北岡 本日はありがとうございます。今回は酒々井・千葉氏まつり実行委員長の山本さんにお話を伺いました。



ばか乗り（仮装行列）に参加した皆さん、お似合いです！



千葉大学馬術部による
競馬の実演



模擬競馬ですばらしい乗馬を
披露した子どもたち



仮装した親子が力を合わせて
レースをした余興競馬

「第1回千葉氏サミット」

千葉氏ゆかりの
全国の自治体が集結



8月21日に千葉市で千葉氏と所縁のある全国の自治体が集まり「第1回千葉氏サミット」が開かれました。酒々井町もサミットに参加することで早速取材にいつてきました。

今回サミットに参加した自治体は、酒々井町の他、北は一関市(岩手県)、南相馬市・相馬市(福島県)、涌谷町(宮城県)、郡上市(岐阜県)、南は小城市(佐賀県)、県内からは千葉市、佐倉市、東庄町、多古町の11の自治体の

首長が集まり千葉氏との歴史的な関わりの話があり、今後の取り組みとして、千葉氏に関する資料発掘、収集、防災時の相互支援に対しても11市町が連携をしていくことなどが話し合われ、「共同宣言書」では①千葉氏の全国的知名度の向上を目指す②千葉氏の歴史や文化について日本遺産昇格に向けて取り組む③経済や観光、防災など様々な分野で相互に交流することが決められました。またこの日は、千葉

市中央公園周辺で行われた千葉の親子三代夏祭りに町のブースも設けられ、酒々井ふるさと大使の仲村さんが「酒々井・千葉氏まつり」のPR、町の推奨品のお酒、落花生などの販売を行いました。井戸っこ(しすいちゃん)、勝っタネ!くんも元気に町のPRのためまつりに参加して、多くの子どもたちと一緒に写真を撮っていました。



酒々井ふるさと大使の仲村瑠璃亜さん



勝っタネ!くん



井戸っこ(しすいちゃん)



千葉氏と所縁のある自治体ブース